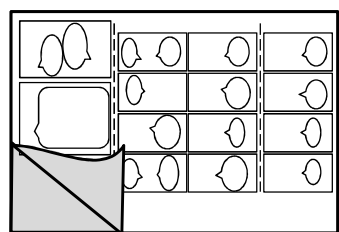
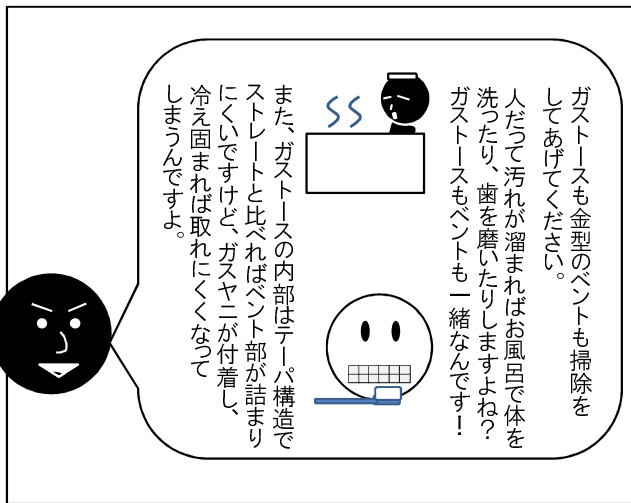
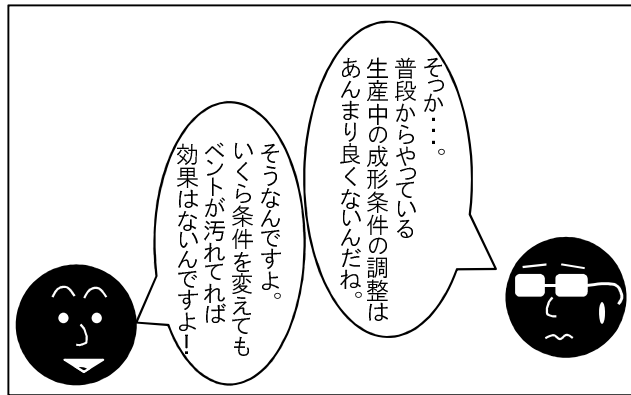


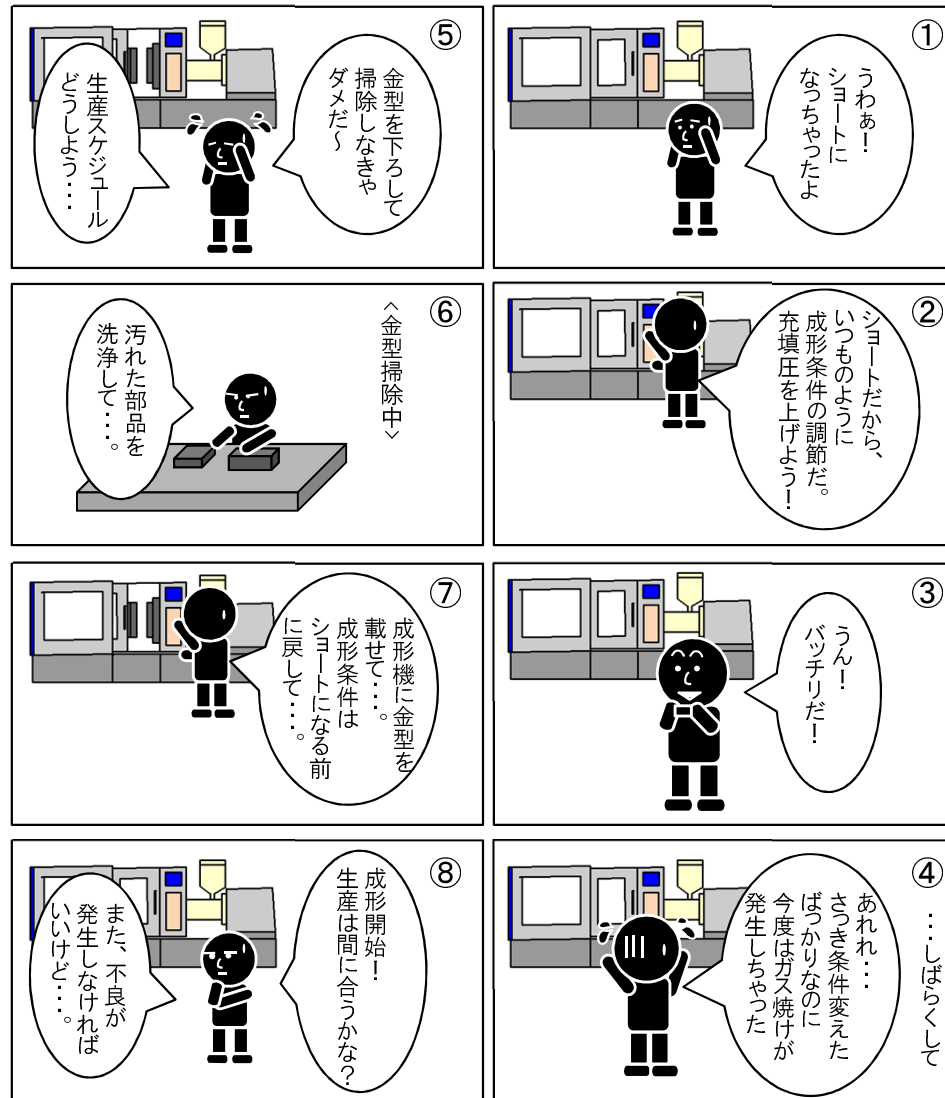
ガストースを長く使用するには

ガストースを長くご使用いただくうえで重要なのが「メンテナンス」です。



詳しいメンテナンス方法は次のページ

ガストースを上手に使えていない人



ガストースを上手に使えている人

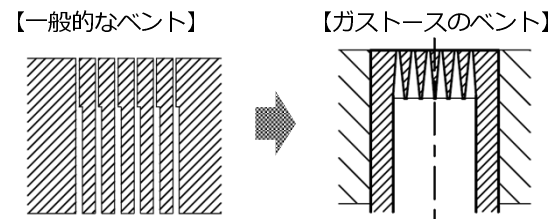


ガストースのメンテナンス方法

ヤニ詰まり

ガストースは先端部分のテーパーにより、排気効率を極限まで向上させ、一般的なベントに比べ、ヤニ詰まりを格段に解消しております。

しかし、『魔法のピンではありません』ので成形して行くうちにいずれはヤニが付着し詰まります。その際は下記方法での除去を推奨しております。



当社推奨ガスヤニ除去方法

通常時に行うこと (生産中の予防として)

PL面清掃、グリスアップ等金型を開いている時に、ヤニクリーナー等をガストース先端部分にスプレーし、その後エアを吹きつける。



生産終了時に行うこと

生産終了後や休暇前の温調を外す前に、ヤニクリーナー等でガストースを洗浄し、しっかりエアブローでヤニ・洗浄液を飛ばしてから、温調を取り外し、金型を下ろして下さい。

メンテナンスを怠ってスリット部が ふさがってしまった場合



ツバ側よりガストースを覗き、スリット部にわずかでも光が透過するようでしたら、ガスヤニの付着による詰まりの可能性が御座います。しっかりと超音波洗浄などの清掃を行うことでスリット部が回復いたします。



ヤニ詰まりしたガストース



金型を下した際に行うこと

超音波洗浄機で洗浄を行う



超音波洗浄 (イメージ)



超音波洗浄機をお持ちでない場合は、市販のメガネ洗浄機でも代用可能です。



POINT

ガストース洗浄の際は、『スリットの入っている面』から洗浄スプレーやエアを吹きつけて下さい。ガストースは先端がテーパー構造になっているため、ツバ側からの洗浄スプレー・エアの吹きつけはご遠慮下さい。

洗浄方法



※スプレーならびにエアを吹き付けの際は、なるべくガストース先端に近い位置から吹き付けていただきますようお願いします。



POINT

ガスヤニは金型が冷えると固まってしまいます。金型を成形機から下した時に(完全に冷え切る前に)メンテナンスし、洗浄することがポイントです